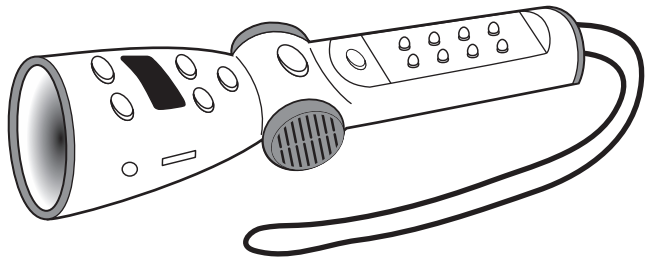


# 防災ラジオライト JF-ERL1W 取扱説明書

保証書付き



- 取扱説明書をよくお読みのうえ正しく安全にお使いください。
  - ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
  - 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 最新の商品情報やサポート情報はホームページにてご覧いただけます。 <http://www.j-force.net>

## ご使用の前に必ずご確認ください

お住まいの地域で聴取可能なラジオ放送局が、緊急地震速報・緊急警報放送に対応しているかご確認ください。

### 緊急地震速報（EEW）とは

地震波が2点以上の地震観測点で観測され、最大震度が5弱\*以上と予測された場合に気象庁が発表する予報および警報です。地震の大きな揺れが始まる数秒から数十秒前に、その到達時刻と震度を推定し、事前に通知することを目的としています。\*各放送局により放送する震度が異なります。気象庁が配信する緊急地震速報の詳細については、気象庁のホームページ (<http://www.jma.go.jp/>) をご覧ください。

ご注意!

NHKは全国の緊急地震速報を放送します。そのため、本機は設置した地域と関係のない緊急地震速報でも受信し、警報動作を行います。

### 緊急警報放送（EWS）とは

大地震や津波などの災害発生をいち早く伝える放送です。災害が発生した際に、テレビやラジオから「ピロピロ」という警報音を発し、災害の発生と災害情報を一いち早く知らせることを目的としています。都道府県知事の要請に応じてNHKをはじめとする各放送局により放送されます。具体的には、人命や財産に重大な影響のある以下の3つの場合に限って放送されます。

■東海地震の警戒宣言が発せられた場合

■津波警報が発せられた場合

■地方自治体の長から、避難命令などの放送の要請があった場合

緊急警報放送には、地震などの災害時に放送される緊急ニュース番組などがあります。内容により、第1種、第2種に区別され放送されます。

放送の内容区分	
・大規模地震の警戒警報	第1種
・災害対策基本法に基づき地方公共団体の長が発する災害に関する警報	
・津波警報第2種	第2種

本機は第1種、第2種両方の緊急警報放送を受信できます。

## 緊急地震速報・緊急警報放送を聞いたら

まずは身の安全を確保することを第一に、落ち着いて行動することが大切です。家の中での対応が基本ですが、学校や職場など、外出中に緊急地震速報・緊急警報放送を見たり聞いたりしたときの行動についても考えておくことが重要です。また、実際に災害が発生したときにあわてず適切な行動がとれるよう、日ごろから災害に対する十分な心がまえをしておきましょう。

災害への心がまえ

- 地震時に備え、家屋の耐震化や家具の転倒、落下防止などの対策はしているか。
- 消火器や避難時の懐中電灯、ラジオ、非常食、飲料水など非常用持出品は備えているか。
- 自宅や勤務先などの周囲に、災害発生時に危険となる場所がないか。
- 事前に避難施設の場所、またそこまでの避難路を確認しているか。
- 家族間の連絡方法などは決まっているか。

## 使用上のご注意

- 震度5 弱以下と予測された場合でも、地域によっては緊急地震速報が放送される場合があります。
- 直下型地震の場合、地震の揺れが発生してから緊急地震速報が放送される場合があります。
- 各ラジオ局によって放送する緊急地震速報の震度が異なる場合があります。
- 気象庁が地震の発生を予測できない場合、緊急地震速報は放送されません。
- 通常の放送中に緊急地震速報のチャイム音に似た音が放送された場合、本機は警報動作を行うことがありますので予めご了承ください。
- 本機の緊急地震速報・緊急警報放送の受信動作については弊社にて十分確認を行っており情報発信元であるNHK ならびに民放ラジオ放送局が責任を負うものではありません。

## 設置場所について

- ラジオ放送を良好に受信できる場所に設置してください。
- 本体の向きによって受信感度が変わります。最適な位置・方向を探してください。

<次のような場所には設置しないでください>  
落下の危険があるような不安定な場所  
テレビ・パソコン・OA機器・電子レンジ・無線機器の近く

## 試験信号放送について

- 毎月1日午前11:59～12:00にNHKの試験信号放送による動作確認を行います。設定方法に関しては、**操作方法 3** 緊急放送の設定をご覧ください。
- 試験信号放送受信時には、液晶画面内に【試験中】の文字が点滅し、ライトとランタンが点滅します。ラジオのミュートは解除されません。信号受信後、約1時間で自動的に待機状態へ戻ります。すぐに待機状態へ戻す場合は、「設定/待機」ボタンを短押しします。

試験信号 受信時の動作	ライト・ランタン	▶点滅	1時間継続	待機状態へ
	液晶画面	▶点灯		
	液晶画面「試験中」	▶点滅		
	液晶画面「EWS」	▶点灯		
音声放送なし				

## 免責事項

- 本機自体で地震や災害による被害・損害を回避または軽減するものではありません。
- 万一本機の不具合、誤った設置やお取り扱いなどにより速報・警報の受信、報知ができなかった場合でも、災害によって生じた被害・損害について保証するものではありません。

## 安全上のご注意

製品を正しく安全にご使用いただくために、ご使用前に必ず次の事項をお読みください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告** 火災、感電などにより死亡や大けがを負うおそれがある内容を示しています。  
**注意** けがをしたり周囲の物品に損害を与えるおそれのある内容を示しています。

絵表示の説明

注意をうながす記号	行為を禁止する記号	行為を指示する記号
一般的注意	禁止 分解禁止 ぬれ手禁止	一般的指示 電源プラグを抜く

## 警告

AC アダプターのコードを破損するようなことをしないでください

製品と壁や床などの間に挟み込まない  
加工したり、傷つけたりしない  
重いものをのせたり、引っ張ったりしない  
熱器具に近づけたり、加熱したりしない  
AC アダプターを抜く時は、必ず本体を持って抜く

煙・異臭・異音が出た場合、落下・破損した場合は、使用を中止し、AC アダプターを抜いてください

落としたり、水がかかったり、破損した場合は使用を中止し、AC アダプターを抜く  
煙やにおい、音などの異常が発生したら、使用を中止し、AC アダプターを抜く

火災・感電などの原因となります。

火災・感電などの原因となります。

## 安全上のご注意（つづき）

## 警告

不安定な場所に置かないでください

落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

禁止

水をかけたり、ぬらしたりしないでください

火災・感電・故障の原因となります。

禁止

浴室やシャワー室では使用しないでください

本機は防水仕様ではありません。感電や故障などの原因となることがあります。

浴室での  
使用禁止

水滴のかかる場所や、湿気、湯気、油気、ほこりの多いところには設置しないでください

禁止

火災、感電の原因となることがあります。

禁止

近くに花瓶など水の入ったものを置かないでください

水ぬれ禁止

水がこぼれるなどして中に入ると、火災、感電の原因となります。

バッテリーおよび AC アダプターは必ず本機に付属のものをご使用ください

本機に付属の専用バッテリー・専用アダプターをお使いください。付属品以外のものを使用した場合、バッテリーの液もれや発熱、破裂および発火などの原因となります。

注意

分解・修理・改造をしないでください

けがや感電などの事故または故障の原因となります。

分解禁止

AC アダプターにホコリなどが付着しているときは、AC アダプターを抜いて乾いた布で取り除いてください

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

ほごりを取る

ぬれた手で AC アダプターを抜き差ししないでください

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

AC アダプターは確実に差し込んでください

差し込みが不完全な場合は発熱したり、ほごりが付着して火災・感電の原因となることがあります。

確実に  
差し込む

## 安全上のご注意（つづき）

## 警告

AC100 V以外での使用、コンセント・配線器具の定格を超える使用、タコ足配線をしないでください

禁止

火災や感電の原因となることがあります。

禁止

雷が鳴り出したら、AC アダプターに触れないでください

感電の原因となります。

接触禁止

端子部に異物を差し込んだり、針金などの導電物を差し込んだり、接続したりしないでください

感電・火災・故障の原因となります。

禁止

お手入れや長時間使用しないときは AC アダプターを抜いてください

感電や故障の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

移動するときは、AC アダプターをはずしてください

コードが傷つき感電や故障の原因となることがあります。

接続線を  
はずす

## 注意

お手入れをするときはシンナーやベンジンなどの薬品を使用しないでください

変質、変形、変色の原因となります。

禁止